


テーマ	No. 18	水源地域の水と森のつながりについて勉強しよう	
	香川用水の水源地域で水を育む森の大切さを、においてさわって感じてみよう！		
ねらい	早明浦ダムを水源とする香川用水から多大な恩恵を受けている香川県にとって、水源地域に対する認識を深めることは重要です。 水源地域での森林の働きや管理の仕方を知り、実験や体験を通して森林への関心を深めます。		
対象者	小学校4年生～6年生	人数	40人程度
実施場所	屋内	時間	1時限
学校の準備物	小学生用副読本「香川県の人びとのくらしと水」、プロジェクター、スクリーン、パソコン(DVD再生可能なもの)、スピーカー		
アピールポイント	講師として香川用水の水源地域(高知県)で森林の仕事に携わる方をお招きし、森林に関するいろいろな話を聞くことができます。 また、木の形や香り、手触りを実際に感じることによって、森の大切さや興味深さを楽しく学ぶことができます。		
関連するSDGs			
プログラムの進め方			
<p>①香川用水の役割や水の大切さについて 香川県にとって香川用水の水がなぜ大切なのか、どこからどのようにして来るのか、どのような用途に使われているのかを説明します。</p> <p>②水源地域における森林の管理について 植付から下刈、伐木、木材の搬出まで森林の管理に関する一連の流れを紹介し、世代を超えた長いスパンでの森林の手入れが重要だということを理解してもらいます。</p> <p>③森林の水を貯える働きについて 間伐の有無により雨の地面へのしみこみ方がどのように違うかイメージできるように、スポンジを使った実験を行います。</p> <p>④木に触れてみよう！ ヒノキ、スギなどの木を手にとってみて、形や香り、手触りを感じてもらいます。</p>			
